



11月号 第243号

発行日 平成23年11月1日(火)
発行所 八王子の碁を楽しむ活きいき連合
住所 八王子市みつい台2-13-12
TEL (042) 691-3671
発行人・磯部 信広
編集者・三浦 和夫

碁楽連の目的

碁楽連は、八王子市内に居住する
高齢者が、囲碁を通じて親睦を図り、
かつ、健康を維持できるようにその
機会を提供し、高齢者の福祉の増進
に寄与することを目的とする。

<http://www.shiminkatudo-hachioji.jp/gorakuren/>

実戦心理----このやっかいなるもの----

由木寿囲碁同好会会長 杉渕 清

現役の頃通勤電車の中で新聞碁の解説をよく読んだものである。碁の中身はよくわからなかったが、棋戦の解説は読み物として楽しいものが多かった。その中で実戦心理という言葉によくお目にかかった。棋戦の解説などで、「どうしてこんな手を打つのでしょね、実戦心理でしょうか」といった言い方である。難しくて手に負えないというよりは、「もっとわかりやすいよい手がありそうなものを、魔がさしたのか」といった棋士の心理面を推測しているように見えた。実戦心理という言い方は最近ではやらないようである。

もともとザル碁であるが、最近その度がますます強くなってきた。歳をとったせいだよと言われそうだが、それは当たっている。しかしその分を割り引いても情けない状態である。勝負はともかく、よい形の碁を打ちたいもの、と格好つけて負け惜しみを言ったりするが、しょせんは碁も勝負事、負けるのは口惜しい。

強くなりたくて若いころいろいろ棋書を読んだ。しかし身についたものはほとんどなかった。解説書の多くは当然論理的であるが、複雑で変化が多く、アマチュアが実戦に役立たせることは難しい。碁の魅力は、この深奥の部分にあるのだろうから仕方ないことだ。棋理の深い部分はアマチュアには手に負えないが、(アマチュアの)碁には別の側面があるようだ。

アマチュアで碁の強い人には、あるタイプがあると思うようになった。強くなる人はいつも冷静沈着で、理性的なのである。「彼はクールで碁に好ましい性格だ」という

云い方を聞いたこともある。ひるがえってわが身を見ると、つまらない手を打っては、くさって碁が崩れてしまう。強い手を打たれると「なにを猪口才な」とばかり肩に力が入りこちらが支離滅裂になってしまう。要するに感情の支配が強いのである。

それにしても気が付くのが遅すぎた。若いときに精神面の重要さに思い到っていれば、もう少しまともな碁を打てるようになったかもしれない。しかし今さら打ち方を変えようとしても出来る筈もないし、可能だとしてももう一人の自分が承知しないだろう。そこで出した結論は、自分と付き合いながら碁も楽しみたいものである、ということだ。つまりはこれまでとなにも変わらないということ、この歳になったら自分を認めざるを得ないのである。そんなへボでも碁はやっぱり楽しい。

碁楽連活性化対策検討諮問委員会の中間報告会が開催されました

去る10月7日（金）東浅川保険福祉センターに於いて諮問委員会正・副委員長、技術顧問、地区同好会会長、理事等21名が参加して中間答申報告会が開催されました。三上委員長の説明の後、質疑応答、参加者より意見・提案等が活発に行われ、委員会に於いて検討する事になりました。答申事項は下記のとおりです。

1. 会の名称について
2. 会員資格の年令について
3. 広報活動について
4. 青少年の囲碁愛好者の育成について
5. その他関連事項について
 - 点数制の導入について
 - 研修会について
 - 他2項

第22回 碁楽連囲碁大会（3段以上）のご案内

日時	平成23年12月4日（日）	受付午前9時～9時30分
会場	東浅川保険福祉センター	
主催	碁楽連	
後援	日本棋院・八王子市・八王子市教育委員会	
競技方法	4～5クラス別のハンデ戦 碁楽連方式	
参加費	700円	
賞品	入賞者に賞品進呈	
参加資格	3段以上の碁楽連会員で、地区寿同好会会長に申込みされた方	

第21回活きいき囲碁大会の結果

今年度の活きいき囲碁大会は10月16日の川口やまゆり大会を以って終了しました。

長房大会（10月2日）於長房ふれあい館

参加者

長房	浅川	恩方	元八王子	中野	大和田	石川	台町	北野	川口	計
26	8	8	4	1	4	5	3	8	2	69

Aクラス 22名

優勝：山本数英 5段→6段/川口 準優勝：二宮 学 4段/石川 3位：高野道行 5段/北野

Bクラス 25名

優勝：梶原和夫 2段→3段/浅川 準優勝：吹上吉輝 2段/北野 3位：佐々木胖充 4段/北野

Cクラス 22名

優勝：野口勝彦 1級→初段/元八 準優勝：小川 勝 初段/大和田 3位：堀岡 正 初段/北野

川口やまゆり大会（10月16日）於川口市民センター

参加者

川口	浅川	恩方	元八王子	中野	大和田	石川	台町	北野	長房	計
20	3	10	7	1	3	1	2	5	6	58

Aクラス 18名

優勝：吉沢 實 7段/恩方 準優勝：徳満英世 5段/恩方 3位：若穂囲廣志 7段/川口

Bクラス 20名

優勝：矢島一雄 3段→4段/川口 準優勝：高取民治 3段/川口 3位：小田辰郎 4段/長房

Cクラス 20名

優勝：長谷川幸二 2段→3段/恩方 準優勝：吹上吉輝 3段/北野 3位：斉藤三男 1級/川口

活きいき囲碁大会参加者数の推移

年度	浅川	恩方	元八	中野	大和田	石川	台町	由木	北野	長房	川口	合計
19	60	78	51	48	43	45	50	42	64	49		530
20	66	75	56	49	69	49	73	47	63	53	48	648
21	65	74	63	57	61	58	73	40	65	50	59	665
22	68	83	74	47	53	42	52	45	42	75	66	647
23	60	79	72	48	64	49	62	54	74	69	58	689

第 22 回地区団体対抗囲碁会の結果

平成 23 年度第 5 回 10 月 9 日開催

浅川 2 勝	松見勝義 6 段 大野稔夫 2 段	池田 悟 4 段 中村千秋 2 段	横内廣隆 4 段 西口正宏 1 級
北野 16 勝	新保礼次 6 段 笠原昭治 4 段	石坂慶通 6 段 吹上吉輝 2 段	高野道行 5 段 一条幸吉初段
石川 10 勝	坂本勝雄 7 段 野嶋孝征 3 段	水野義嗣 5 段 遠藤 博 2 段	中川健治 3 段 福田博行 3 級
台町 8 勝	高本 衛 7 段 添田悦男 3 段	吉田信夫 6 段 白石好伸初段	渋谷昭男 4 段 飯田喜志初段
由木 13 勝	市谷智雄 7 段 穂積宏易 3 段	高沼正三 5 段 菊地武男初段	奥山武平 4 段 滝本喜久治 3 級
大和田 5 勝	佐藤久雄 3 段 栗原久男 2 段	橋本 誠 3 段 大里 宏初段	山崎 満 3 段 畠山 彪初段
長房 2 勝	市川隆一 6 段 川合義章 3 段	小沢美智子 5 段 近藤亮弘初段	鈴木吉治 4 段 小沢公夫 5 級
中野 16 勝	井上栄次郎 7 段 望月毅士 4 段	清水文彦 6 段 中村 靖 3 段	松野勲 4 段 下山恒夫 2 段
川口 9 勝	松崎幸雄 7 段 森田泰夫 3 段	石井忠興 5 段 渡辺恵介初段	藤野誠二 4 段 東山 栄 3 級
恩方 9 勝	吉澤 實 7 段 長尾昌彬 4 段	佐藤裕久 5 段 長谷川幸二 2 段	徳満英世 5 段 稲田権市 2 段

※吹上吉輝さん（2 段/北野）が 3 段に昇格しました。

※福田博行さん（3 級/石川）が 2 級に昇格しました。

地区団体対抗囲碁会優勝は石川寿同好会

今年度の地区団体対抗囲碁会は、10 月 9 日を以って終了しました。年間の各同好会別の戦績は下表に示すとおりです。石川と北野は同率となりましたが、勝数で石川が 57 勝/5 戦、北野が 55 勝/5 戦で石川が 2 勝上まわり、石川同好会の優勝となりました。石川は 4 年連続の優勝でした。

	1	2	3	4	5	勝率	順位	級位者延 参加者数
	5/15	6/12,8/28	7/10	9/11	10/9			
浅川	1	0	1	1	0	0.600	4	4
恩方	1	0	0	0	0.5	0.300	8	0
元八王子	0	0	0	0	—	0.000	11	3
中野	0	1	0	—	1	0.500	6	0
大和田	0	1	0	0.5	0	0.300	8	2
石川	1	0	1	1	1	0.800	1	5
台町	1	1	0	1	0	0.600	4	3
由木	0	—	1	0	1	0.500	6	4
北野	0	1	1	1	1	0.800	2	0
長房	—	0	1	0	0	0.250	10	3
川口	1	1	—	0.5	0.5	0.750	3	2

投稿

健康寿命

由木寿囲碁同好会相談役 信江 峻

先日、高校の同期会があり傘寿になった 60 名と奥方数名が集まった。昭和 19 年 4 月旧制中学 250 名入学・昭和 25 年 3 月新制高校 186 名卒業、6 年の間に学校焼失・敗戦の混乱・学制改革のなかで多感な青春時代を共にした元軍国少年が高校卒業 60 年後に 60 名も良く集まったものだ。

厚生労働省発表の平成 21 年簡易生命表によると平均寿命（0 歳からの平均余命）は男 79.59 歳、女 86.44 歳とある。出席者全員が平均寿命まで生き残ったことになる。さらに 80 歳になると平均余命男 8.66 歳、女 11.68 歳ということだ。一方、WHO（世界保健機関）では平均寿命のうち心身とも健康で活動的にいられる健康寿命（食事・入浴など日常生活を自分で行い、痴呆状態でない期間）を伸ばそうと提唱している。2004 年の統計では平均寿命と平均健康寿命の差は男 5.57 年、女 7.65 年ということだ。

同期会では古希を機会に、介護で迷惑をかけぬよう趣味を充実させようと飲み会を始め旅行・囲碁・麻雀・スキー・ダンス・ゴルフ・カメラ・俳句の 9 つの会を発足させ、初心者歓迎と自由参加を呼びかけた。パートナー不足で脱落したダンス会以外は 10 年続いている。囲碁会も毎月 20 数名参加して百回を越え祝賀旅行を行った。

私は碁楽連に加入したとき、「碁老連」「ボケ防止」なる言葉に反発を感じていたが、こんなに面白く向上心をそそるゲームはない。近くに楽しく遊べる場所があって、健康寿命を伸ばすにはうってつけの環境だと思う。

今年度、碁楽連活性化諮問委員会がスタートしたが、更にレベルアップを図るには、思い切って今までの枠をはずし、若い囲碁ファンや他の囲碁サークルを巻き込む必要がある。碁楽連が中心となり、囲碁を通じて生きいきとした八王子のまちづくりに貢献できれば素晴らしいと思う。

日常の出来事から

浅川寿囲碁同好会 池田 悟

私の子供時代と較べて科学技術の発達から世界中の出来事は、透明性や平等性も一瞬にして、その全容が知らされる。あり余る文化生活の中で沢山の恩恵に浴されている。

反対にリスクもあるが相殺して見てどうなのか、著名な学者にも考え方は二分される所です。甘い見方かも知れないが、まあまあバランスがとれていて、これで良しと見ようか。否そうでないと否定されるのか、個々人の問題、でも毎日のテレビ、新聞等ではどうも人間が生活する上で不都合の方が幅を利かせているようだ。

それではタイトルに基づいて4～5点書いてみました。

1. 最近テレビ番組でNHKののだ自慢や懐かしのメロデー等が人気ようですが、喜怒哀楽が素直に融合され、それぞれの人生観を得られます。歌詞をよく聴いている内に一瞬胸に迫り暫くの間感動しています。自分の好きな曲ともなれば一緒に口ずさむこともあります。

2. 街を歩いていると彼方から消防車やパトカーのけたたましいサイレンの音、車両は停止や徐行し歩行者も素早い対応、この時日本人の公共性に純化する心や之に携わる人達の行動にしばしば感涙することがあります。このことが日常生活に自然に溶け込んだとき社会は素晴しくなるでしょう。

3. 一時小学校で道徳教育の一環として鶏や兎、鯉が飼われた。散歩がてらよく校庭内の雉小屋を覗きに行ったが、いつもの友がいないので聞いて見ると死んだとのこと。30年以上も生き続け生徒たちにも何かを学ばせたとおもいます。当時の鶏と兎も大分前に死んでおり雉小屋は狭かったので、隣接していた物を雉の方に併せ多少でもよい環境で余生を送ればと思い、先生にも伝えましたが、実現に至りませんでした。修繕費も僅かと判断したし労働力も有志や子供たちとの共同作業であれば可能であったのではと心残りです。

4. 狭い我が家の庭も新緑で埋まり、ふと見ると格好の場所に小鳥の巣があるのです。家内の愛敬かと問うと知らない、二人で覗くと卵が4個ありました。

7月4日に発見し7月24日に孵化、8月4日に巣立ちの日でした。滅多にないチャンスと1ヶ月間そっと見守りました。この間、成長につれ親鳥のせつせと運ぶ餌、嘴を揃え

てねだる雛、巣立ちの状況はよくテレビで見る自然界の同じ一連の流れでした。悲しい事に一羽が鳥の餌食となり無念でした。親鳥の心中如何ばかりか。

庭に一本の柿の木があり、そろそろ食べ頃かと思つての矢先、椋鳥の仕業で先を越されること毎年のことでした。腹の立つこともあつたが今は懐かしい思い出です。

5. 高齢になつても結構やぼ用はあるものだ。先ず不要になり押入、箆笥、物置に眠る品々、先日物置の整理で大分回収車のお世話になつた。次にまだ使う時があるかもと10年も20年も後生大事にしている物、また昔の人の物を大切にしたいと思う先入観念の強い人、その他想像されます。寄稿と前後して(株)マガジンハウス社の出版物に“断捨離”について載っていました。1回の棒読みではとても咀嚼出来ませんでした。頁の冒頭に次の3点が強調されているように感じました。

記

「モノを断ち、ガラクタを捨てれば、執着も“離”れていく」

「断捨離」とは、心の執着を手放すヨガの行法哲学

「断行・捨行・離行」をベースとした片付術。

とありました。

台風と囲碁

北野寿囲碁同好会相談役 刀根正樹

『敬老の日に訪れる ヤボ台風』

八王子が台風の直撃を受けた。風速43mと、テレビが報道した。家鳴り震動し、窓を滝のような雨が打つ。「私の人生のような騒々しい敬老の日だ」と思った。

南氷洋で遭遇した台風は、まるで怪物のような別物であつた。風速70m。波高は20mを優に越え、三角波が時折数10mの峰となつてそそり立つ。仕事にならず、囲碁にふけていた。ソファに碁盤を置き、ぬれ手拭を敷いて、碁石が流れないようにした。船の揺れ具合で時々碁盤が床に転落した。勝負にこだわらず、また最初から打ちなおした。コップ酒片手に、台風が過ぎ去るまで碁を楽しんでいた。あの時は恐怖感はなかったが、喜寿を迎えた今、テレビの台風画面に時折恐怖を覚えることがある。

『浅川の氾濫 堤防土俵ざわ』

浅川橋の水位観測地点で、2時間40分にわたり、避難判断水位2.3mを超えた。テレビでこれを知った私は、北野の浅川を見物に行こうとして、妻に叱られた。『ニュースでよくあるでしょう。川を見に行つて、行方不明になる老人が』。仕方なく私は読書を始めた。夏目漱石の「二百十日」である。主人公と友人の圭さんが熊本を旅する。阿蘇が頭上でごうごうと煙を噴き上げている。それが主人公には、時代への百年の不平を吐き出しているように見えた。「ともかくも阿蘇に登ろう」と二人は山頂を見詰めた。時あたかも二百十日、嵐の予感がした。私は読了して、阿蘇に登り、火口をのぞきたいと思つた。と

いって高尾山では、嵐の中を登山する気にはなれない。

ふと私は週刊碁を手にした。名人戦、井山裕太名人に山下道吾本因坊が挑戦している。山下先勝の後の第2戦であった。それはあたかも台風のような殴り合いの戦いであった。会場は国立京都国際会館「宝松庵」。比叡山を間近に望む静かな所であるが、名人戦の内容は関ヶ原の戦場のような激しいものであった。両者強手を出しあい、四つに組んで力の限り格闘を続けたが、ついに井山が最強手を繰り出し、大蛇のようにのたうつ山下の石にとどめを刺した。それは八岐大蛇を退治したスサノオノミコトに見えた。

私はテレビの画面に目を移した。台風の中は、秩父から宇都宮へと移動していた。その東側にあたる八王子には強風がまだ吹き荒れていたが、雨足は弱まっていた。

『富士老いし つかれた姿や もっそりと』

台風一過。翌日は快晴で、抜けるような青空のかなたに、富士が久しぶりに姿を見せた。それは台風と戦った疲れが、老いさらばえたように、ずんぐりむっかりとうずくまっていた。『なにやら富士も私に似てきたか。おたがい長い人生をたたかって来たからな。しかし、まあ雪化粧をすれば、また再び若返り、コノハナサクヤヒメの美しい容姿を現わすであらう』。

台風は東北の震災地にも爪跡を残した。国難の年なのである。ナデシコジャパンのように、ねばり強くがんばり抜くことが今必要だ。老人もたたかおう。日本のため、自身のため、そして囲碁を楽しみ育てるために。

『ナデシコは 秋の七草 囲碁に咲く』

『台風も 去りて ナデシコ 囲碁の花』

◎第7回 碁楽連理事会

日時 平成23年9月24日（土）9：00～12：00

出席者 理事6名 望月成一・端山昌夫氏

- 議案 1：活性化対策検討諮問委員会の中間答申に関する報告会の開催について
2：碁楽連囲碁大会の協力要請について
3：市民囲碁大会について
開催要項、大会次第、役割分担等

編集後記 早いもので生きいき囲碁大会及び地区団体対抗囲碁会は全日程を終了しました。ご協力有難うございました。残るは11月3日の市民囲碁大会と碁楽連囲碁大会（3段以上、2段以下）、碁楽連タイトル囲碁大会の4大会です。皆さんのご健闘を期待します、またご協力をお願いします。